

ビタミン発見 100 周年

ビタミンの日制定 10 周年

2010 年は、ビタミンが発見されてから 100 周年

1910 年に鈴木梅太郎博士が米糠から取り出した脚気に効く物質オリザニン（現在の「ビタミン B1」）を発見し 12 月 13 日に東京化学会例会に発表しました。その日を『ビタミンの日』として制定しました。

ふれあいビタミンあいのまち
ビタミン効果で救之原を元気にしよう!



ビタミン発見 100 周年記念大会

12 月 12 日（日） 10:30 ~ 16:00

相良総合センター い〜ら

入場無料

～地域にビタミン・身体にビタミン・心にビタミン～

- ・博士の孫弟子 荒井綜一農学博士による、現代に生きる博士のビタミン発見の功績のお話やパネルディスカッション
- ・心が温かくなるビタミン愛の手紙表彰やビタミン模擬授業
- ・食と健康（機能的食品&グルメブース、健康チェック）
物産展など

来場記念品アリ





鈴木梅太郎博士

明治7年(1874年)4月7日、堀野新田村(現在の牧之原市堀野新田)鈴木庄蔵の次男として生まれた鈴木梅太郎博士は、幼少期から学問を好み、15歳の時には単身上京し、刻苦勉強して、明治29年(1896年)、東京帝国大学農学科を主席で卒業しました。

その後、同大学助教授となって翌年ドイツへ留学。ベルリン大学エミールフィッシャー教授のもとでタンパク質やアミノ酸の分析について学びました。明治43年(1910年)、ビタミンBの抽出に成功し、「オリザニン」と名付け、当時流行した「脚気」の治療に大きな貢献をしました。

昭和18年(1943年)、文化勲章を受領し、さらに昭和天皇より正三位勲一等を拝受しています。

このように、鈴木梅太郎博士は郷土の生んだ世界的な科学者であり、青少年の夢を育む偉大な存在となっている人です。

趣意書

~「ビタミン発見100周年」記念事業に向けたご賛同とご協力をお願い~

近年、日本社会の少子高齢化が進む中、人々の「健康」に対する意識や関心には非常に高いものがあります。厚生労働省による長期国民健康づくり運動を受け、各地方自治体でも生活習慣病予防に対する啓発活動も充実してまいりました。

こうした中、鈴木梅太郎博士が「ビタミンB1」(オリザニン)を1910年に学会に発表した12月13日にちなんで、発起人を中心に2000年12月13日に『ビタミンの日』を制定しました。それ以降、ビタミンの日制定委員会やNPO法人ビタミンネットワークなどによりビタミンの知識の普及や鈴木博士の顕彰などに取り組んでまいりました。

また、牧之原市では、総合計画の基本理念として「幸福実現都市・ふれあいビタミンあいのまち」と、先駆的に謳っておりますし、この地域では「ビタミン」を多く含んだお茶や柑橘類などの農産物や海産物の主要生産地となっております。

本年は「ビタミン発見100年・ビタミンの日制定10年」を迎える節目の年となります。ビタミン発見から100年が経つなかで、農芸化学において環境や生命、食品など各分野へ大きな影響を与えるに至った鈴木梅太郎博士の功績とビタミンの効果を検証し情報発信することで、今後の食品や健康産業の振興に寄与するとともに牧之原市を全国へのビタミン情報の発信基地として、また、地場製品の販売促進や市民の健康づくり、郷土愛の醸成などの各事業を通じたビタミンのまちづくりに取り組む契機となるよう行政との協働によりイベントや広報事業を計画しております。

将来に向けて今回の事業が、「ビタミン」をキーワードとした経済的・文化的な価値創造の契機となり、地域社会に一層の元気をもたらすと共に、子供達の教育分野においても博士の偉業を伝承して行く一助となればと考えます。

何卒、皆様のご理解とご支援を賜りたくよろしくお願いたします。

ビタミン発見100周年記念事業実行委員長 堀池 勇



ホームページ URL : <http://www17.atpages.jp/vitamin/>

Eメール : vitaminnetwork7@gmail.com



ビタミンI(愛)ありがとう

12月13日は「ビタミンの日」です。牧之原市出身の鈴木梅太郎博士が、「ビタミンB1(オリザニン)」を学会に発表した日にちなんで制定されました。

今年、ビタミン発見100周年、ビタミンの日制定10周年を記念して、10回目となる「心のビタミンI(愛)」を大募集いたします。

ビタミンは私達の体になくてはならない微量栄養素で、身体の健康を支え生きていくのに欠かせません。

でも、体だけが健康では、生きていけません。「心の健康」も必要です。

うれしい、楽しい、感動した、ワクワクした、ドキドキした、がんばろうと思ったなど、心が良いことを感じる事が大切です。

そんな心の栄養が、「心のビタミンI(愛)」です。

心温まる行いや思いやりを受け感動したこと、励まされてうれしかったことなどに対して、感謝の気持ちなどをはがきを書いて相手に伝えることで、心のビタミンI(愛)を交換してみませんか。

募集要項

テーマ(題名) 私達の周りにある「心温まる話」「感動した話」「感謝の意気持ち」「励まされた話」など心が健康になる話

応募方法 題名、文面、氏名、住所、年齢、ご職業を明記し、官製はがきにて応募してください。

提出先 〒421-0532 牧之原市地頭方925-2 桃林堂菓子店内
ビタミン発見100周年実行委員会 ビタミンI(愛)担当 山下

賞 最優秀賞 優秀賞
新聞にて掲載予定。表彰は100周年記念シンポジウムで行います

締切 12月3日(金)

お問合せ先 山下 TEL 0548-58-0404



ビタミン発見100周年記念にかかる学校の取組

【心の教育】

	期日等	学年	授業の内容	備考
相良小	12月10日	4年	・道徳副読本「心ゆたかに」にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、不撓不屈をねらいに、鈴木梅太郎博士の生き方を学ぶ。	4年)社会科の副読本を使って社会の授業を行う 1～3年)各学級で写真を使って紹介をする。
片浜小				
菅山小	10月26日 5校時	4年	・道徳副読本「心ゆたかに」にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、鈴木梅太郎博士の生き方を学ぶ。 ・自分でやろうと決めたことは、ねばり強くやり遂げる心情を育てる。	・生誕地の様子の写真 ・事前学習の実施
萩間小	11月16日 1校時	4年	・道徳副読本「心ゆたかに」にある「科学者鈴木梅太郎」を資料にして、夢をあきらめずに追いかけてようとする鈴木梅太郎博士の生き方を学ぶ。	12月10日 全校児童に昼の放送で小杉教頭が梅太郎博士について話をする。
地頭方小	10月19日 3校時	6 - 1、2	・道徳副読本「心ゆたかに」にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、鈴木梅太郎博士の業績、生き方について、地域の方の話や資料を使い、困難に遭っても夢をあきらめない博士の生き方を学ぶ授業を行う。	梅太郎博士に詳しい地域の方を講師に招聘し、紙芝居を見る。
牧之原小	11月29日 3校時	4年	道徳副読本にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、博士の生き方・功績・郷土の偉人であることを学び、あきらめずに夢を追うことの大切さについて考える。	全校児童を対象に、朝礼で鈴木梅太郎博士のことを学ぶ。
川崎小	11月30日 3校時	4年	道徳副読本にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、博士の生き方・功績・郷土の偉人であることを学び、自分を向上させるため高い目標を持って生きる大切さについて考える。	
細江小				
勝間田小	12月4日 3校時	4年	道徳副読本「心ゆたかに」にある「科学者鈴木梅太郎」を資料に、鈴木梅太郎博士の生き方を学び、自分でやろうと決めたことは、最後までやり遂げようとする心情を育てる。	写真など資料があったらいただきたい。
坂部小				
相良中	12月?日 朝の時間	3年生徒	朝礼の時間に、校長が鈴木梅太郎博士の業績や生き方について講話をして、夢に向かって努力することの大切さを理解させる。(進路指導)	ビタミン発見の日についても知らせる。
牧之原中	12月?日 朝の時間	3年生徒	朝礼の時間に、校長が鈴木梅太郎博士の業績や生き方について講話をして、夢に向かって努力することの大切さを理解させる。(進路指導) 市指定発表のため、指導計画を動かすことは困難	ビタミン発見の日についても知らせる。
榛原中	12月?日 朝の時間	全校生徒	朝礼の時間に、校長が鈴木梅太郎博士の業績や生き方について講話をして、夢に向かって努力することの大切さを理解させる。(進路指導) 市指定発表のため、指導計画を動かすことは困難	ビタミン発見の日についても知らせる。

ビタミン発見100周年記念にかかると学校の取組

【食育】

	期日等	学年	授業の内容	備考
相良小	11月8・9・10日 10月18・19 21日	5年・6年 全学級	・栄養職員と学級担任とのTT指導とする。 ・内容は、栄養のバランスをとることの大切さを学ぶ目的で、食に関する授業を行う。 ・ビタミンの大切さや効能、バランスの大切さを学ぶ。	4年) 社会科の副読本を使って社会の授業を行う 1～3年) 各学級で写真を使って紹介をする。
片浜小	10月22日 4校時と 給食の時間	6年 全校児童	・曾根栄養士を迎え、家庭科の授業の中で食に関する指導を、担任とのTT指導で行う。 ・ビタミンの大切さを知り、郷土の偉人鈴木梅太郎博士の功績を学ぶこととする。	12月9日給食の時間に全校児童を対象に規則正しい生活と食生活の学習を行う。
菅山小	11月29日 5校時	5年	・総合的な学習の時間の中で、米づくりを行い、米ぬかに含まれているビタミンB1の効能を知り、ビタミンの大切さに気づく授業とする。	佐野栄養教諭とのTTによる。
萩間小	12月上旬	6年	佐野栄養教諭と担任とのTTで、ビタミンの効能やその大切さを知り、より良い食生活を考える授業を行う。	佐野栄養教諭とのTTによる。
地頭方小	11月25日 2校時	5年	・家庭科のご飯の炊き方の授業の際、鈴木梅太郎博士が米ぬかからオリザニンを発見したことの説明を行い、ビタミンB1が普段食べているご飯とかかわりのあることを学ぶ。	梅っ子フェスタの中で、紙芝居を使って、業績を学ぶ。
牧之原小	11月29日 3・4校時	5年	家庭科で担任と栄養教諭のTT指導により、「作って食べよう」の単元のご飯とみそ汁を作る授業で、米の種類や形、栄養について学ぶことを通して、ビタミンB1の効能を知り、梅太郎博士の功績を学ぶ。	太向栄養教諭とのTT指導
川崎小	11月29日 3校時	5年	子どもたちが、ビタミンの効能を知り、自己の食生活を振り返るとともに、家族に食生活改善を進める実践ができるような授業を行う。	栄養士とのTT 食材の準備
細江小	10月26日 2・3校時	6年	・学級活動「1食分の献立づくり」 ・栄養士と担任とのTT指導で行う。 ・ビタミンを含んだ栄養素、栄養素を含んだ食材について知る。	給食委員会活動 下級生に対し、ビタミン・梅太郎博士の業績等を知らせる。
勝間田小				
坂部小	11月5日 12月2日	5年 6年	5年) 子どもたちが、ビタミンの効能や大切さを知り、自分の食生活を振り返るとともに、栄養のバランスを考えた1食分の献立を作る。 6年) 子どもたちが、ビタミンの効能や大切さを知り、自分の朝食について考え、朝食をしっかりとろうとする態度を養う。	栄養士川原先生とのTTの授業
相良中	12月9日 3校時	1年生全学級	・ビタミン、梅太郎博士についてクイズで学ぶことを通して、業績や生き方を知る。 ・ビタミンの効能を考えた食生活ができるよう講話を聞く。	講話は、栄養士とする。
牧之原中	11月17日 11月24日	2年 3年	学級活動において、学級担任と栄養教諭とのTT指導で、ビタミン発見秘話を使って、現代の食生活を見直すことを通して、自己の食生活改善を考える授業を行う。	
榛原中	12月16日 6校時	1年生全学級	成長期にありながら、偏食がちな生徒が、ビタミンの効能を知り、望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自己の健康づくりに生かす授業を行う。 栄養士さんの講話を中心に	体育館 パワーポイント 使用をお願いしたい。